

---

---

# 令和元年度吉川市市民意識調査報告書

— 概要版 —

---

---



令和元年11月

吉川市役所はISO9001供給者適合宣言をしています。

# 1. 市民意識調査の概要

## 1. 調査の趣旨

この調査は、市政に対する市民ニーズが多様化している中で、市の取り組みについての市民の意向（満足度・重要度）や意識を調査・把握することを目的としています。

また、本市では、ISO9001供給者適合宣言を行っておりますので、このシステムに基づく要求事項9.2.1により、市民満足度を監視する調査として位置付けています。

この調査の実施に当たり、市内在住の18歳以上の男女1,500人（令和元年6月1日現在）の方にご協力いただきました。

なお、調査項目、調査時期等については次のとおりです。

## 2. 調査項目

- (1) 回答者の属性
- (2) 回答者の幸福感
- (3) 吉川市の住み心地
- (4) 吉川市への想い
- (5) 回答者の現状と認識
- (6) 市の取り組みについての満足度・重要度
- (7) 特集①～④
- (8) 行政サービスについて

## 3. 調査時期

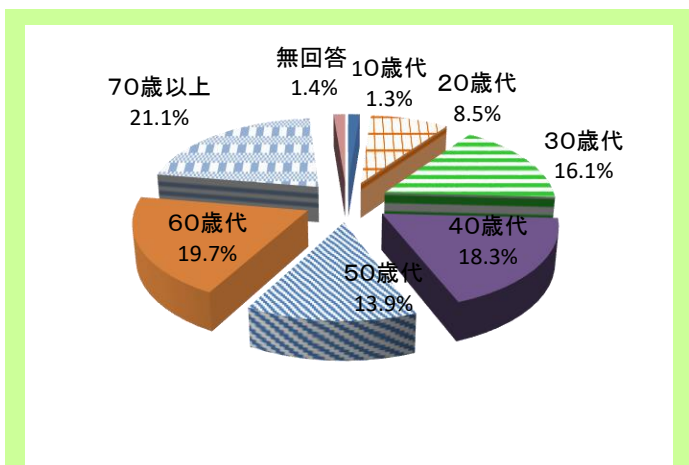
令和元年6月28日（金）から7月12日（金）まで

## 4. 調査方法

郵送配布・郵送回収による調査

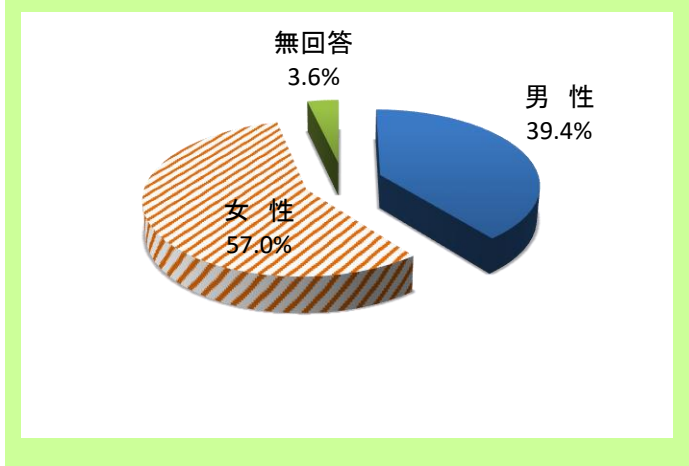
## 5. 回収結果

有効回収数（率） 635人（42.3%）



(1つ選択)

区分	実数	割合
10歳代	8	1.3%
20歳代	54	8.5%
30歳代	102	16.1%
40歳代	116	18.3%
50歳代	88	13.9%
60歳代	125	19.7%
70歳以上	134	21.1%
無回答	8	1.3%
母数	635	100.0%



(1つ選択)

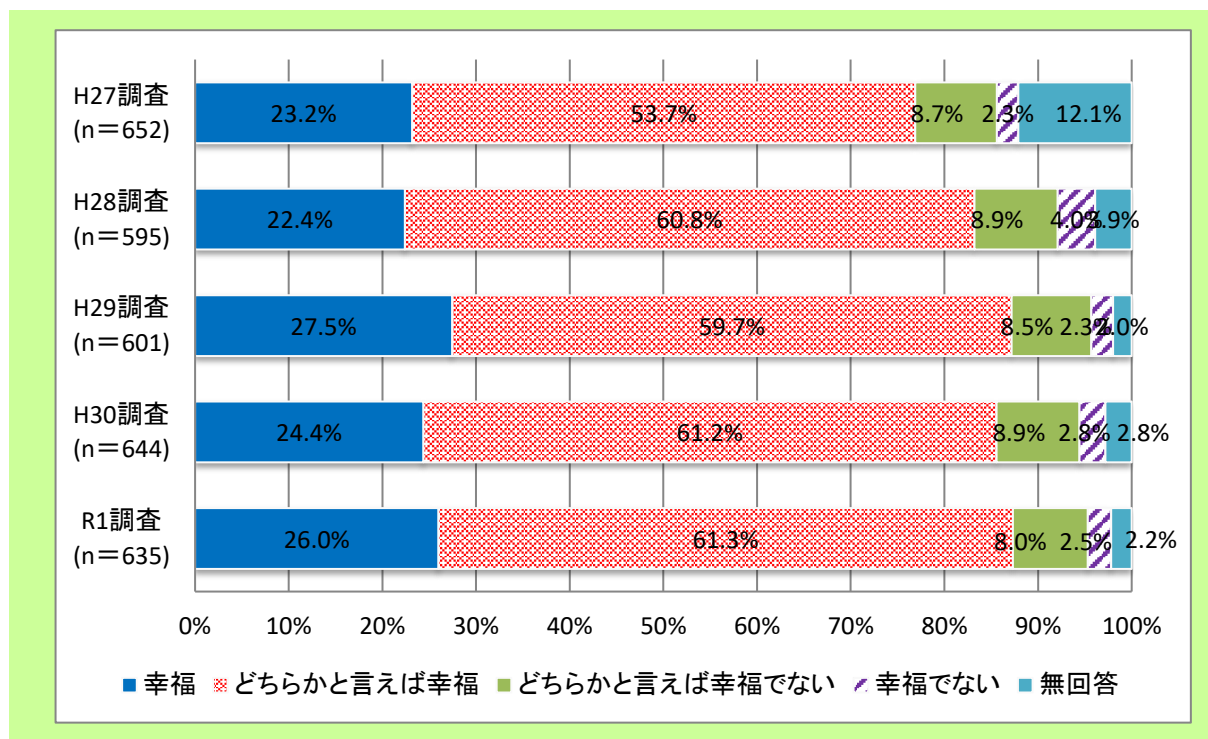
区分	実数	割合
男性	250	39.4%
女性	362	57.0%
無回答	23	3.6%
母数	635	100.0%

## 2. 回答者の幸福感

～ 回答者の87.3%が「幸福・どちらかと言えば幸福」と感じています ～

回答者の主観的な「幸福感」について伺ったところ、「幸福」165人（26.0%）、「どちらかと言えば幸福」389人（61.3%）、「どちらかと言えば幸福でない」51人（8.0%）、「幸福でない」16人（2.5%）となっています。

「幸福・どちらかと言えば幸福」は554人（87.3%）、「どちらかと言えば幸福でない・幸福でない」は67人（10.5%）となっております。



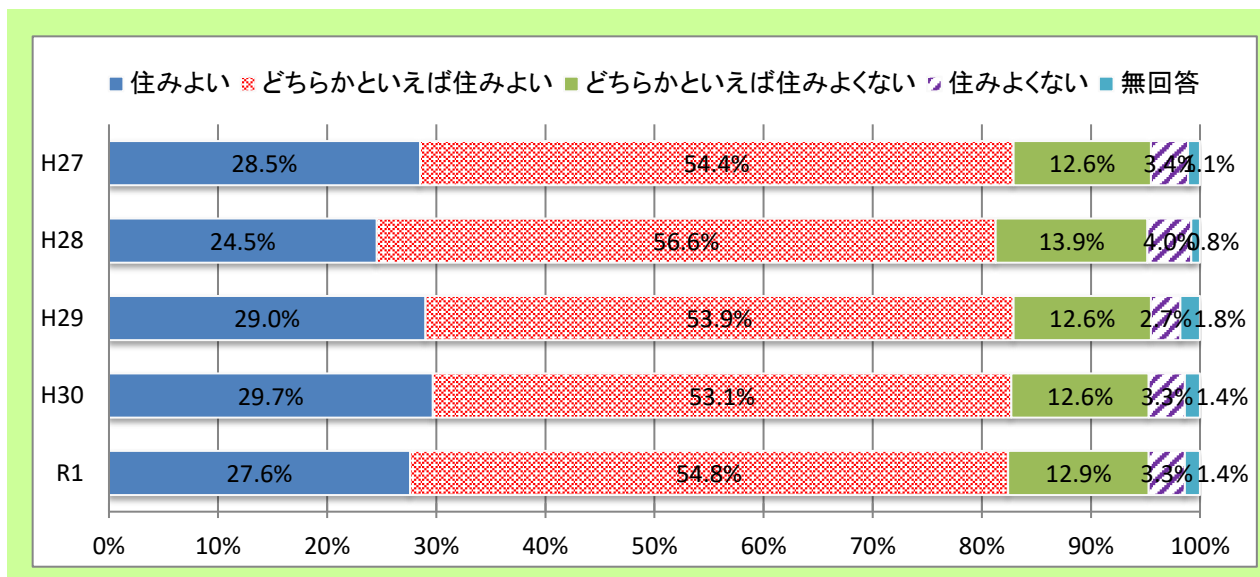
(1つ選択)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	
					実数	割合
幸福	23.2%	22.4%	27.5%	24.4%	165	26.0%
どちらかと言えば幸福	53.7%	60.8%	59.7%	61.2%	389	61.3%
どちらかと言えば幸福でない	8.7%	8.9%	8.5%	8.9%	51	8.0%
幸福でない	2.3%	4.0%	2.3%	2.8%	16	2.5%
無回答	12.1%	3.9%	2.0%	2.8%	14	2.2%
計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	635	100.0%

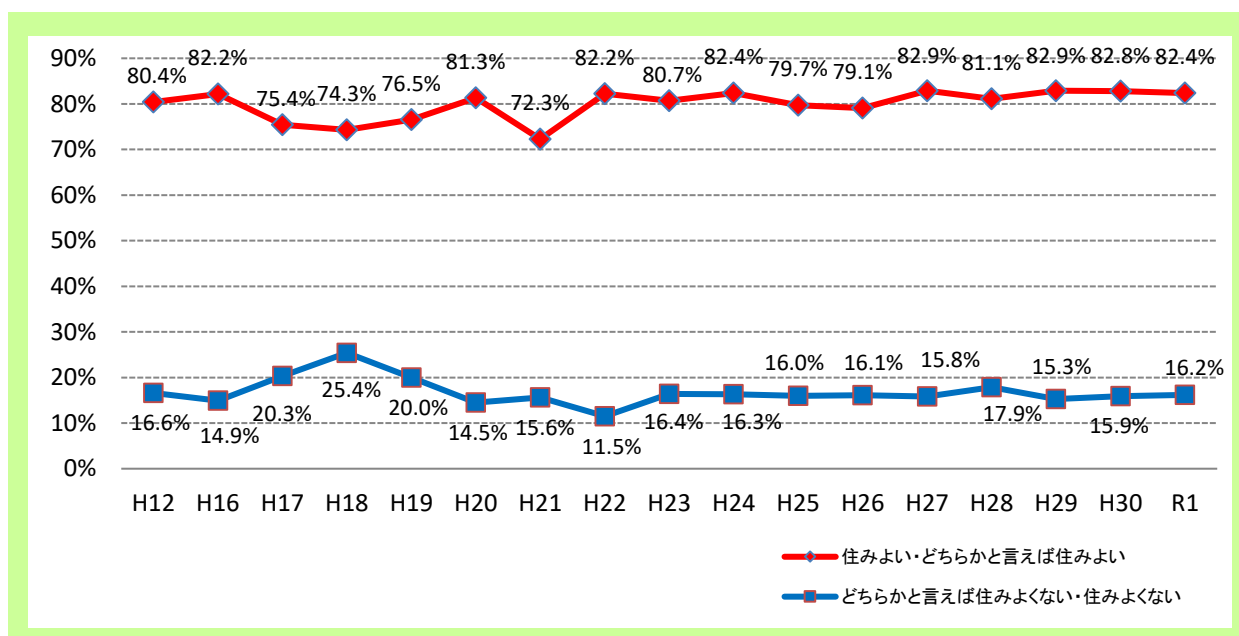


### 3. 吉川市の住み心地

～ 回答者の82.4%が「住みよい・どちらかといえば住みよい」と感じています ～



～ 過去の調査結果を見ると「住みよい・どちらかといえば住みよい」は約72%から約83%の間の範囲で推移しています ～

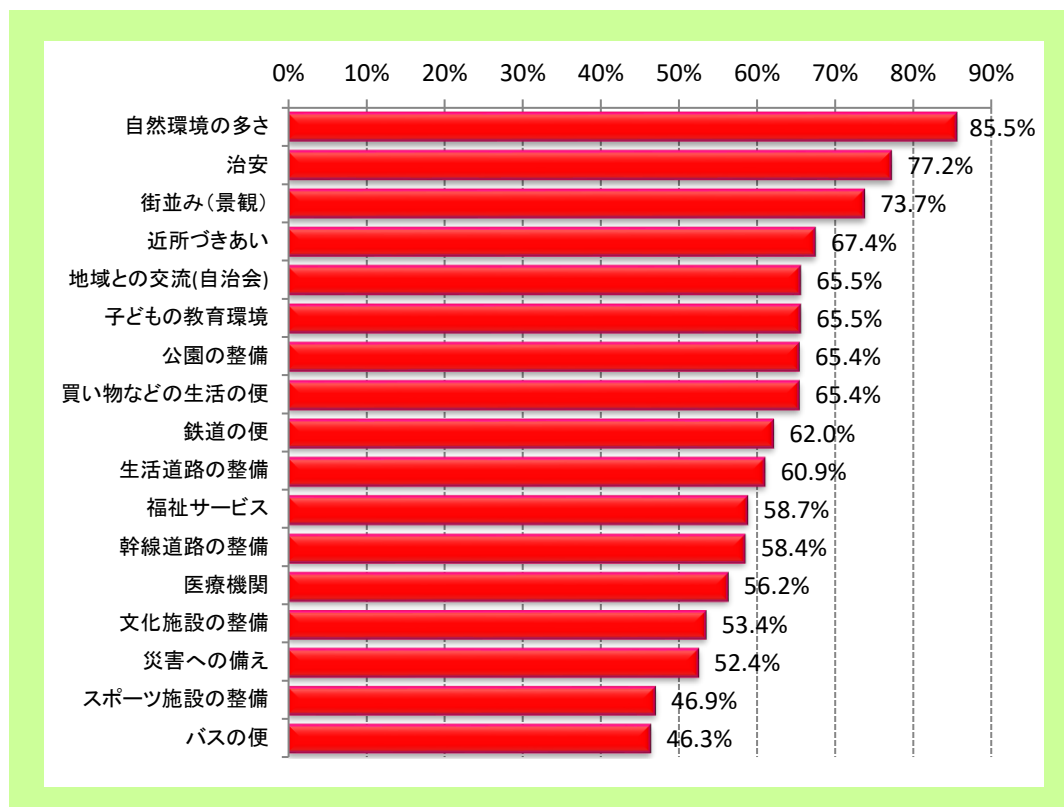


吉川市の住み心地を伺ったところ、「住みよい」175人（27.6%）、「どちらかといえば住みよい」348人（54.8%）、「どちらかといえば住みよくない」82人（12.9%）、「住みよくない」21人（3.3%）となっています。

「住みよい・どちらかといえば住みよい」の合計は523人（82.4%）でした。「どちらかといえば住みよくない・住みよくない」の合計は103人（16.2%）で、平成23年からは約16%で横ばいとなっています。

## 3-2. 吉川市の住み心地を「よい」とする理由

～ 住み心地を「よい」と感じる点として7割以上の回答者が「自然環境の多さ」「治安」「街並み（景観）」をあげています ～



(該当するもの全て選択)

区分	実数	割合
自然環境の多さ	543	85.5%
治安	490	77.2%
街並み(景観)	468	73.7%
近所づきあい	428	67.4%
地域との交流(自治会)	416	65.5%
子どもの教育環境	416	65.5%
公園の整備	415	65.4%
買い物などの生活の便	415	65.4%
鉄道の便	394	62.0%
生活道路の整備	387	60.9%
福祉サービス	373	58.7%
幹線道路の整備	371	58.4%
医療機関	357	56.2%
文化施設の整備	339	53.4%
災害への備え	333	52.4%
スポーツ施設の整備	298	46.9%
バスの便	294	46.3%

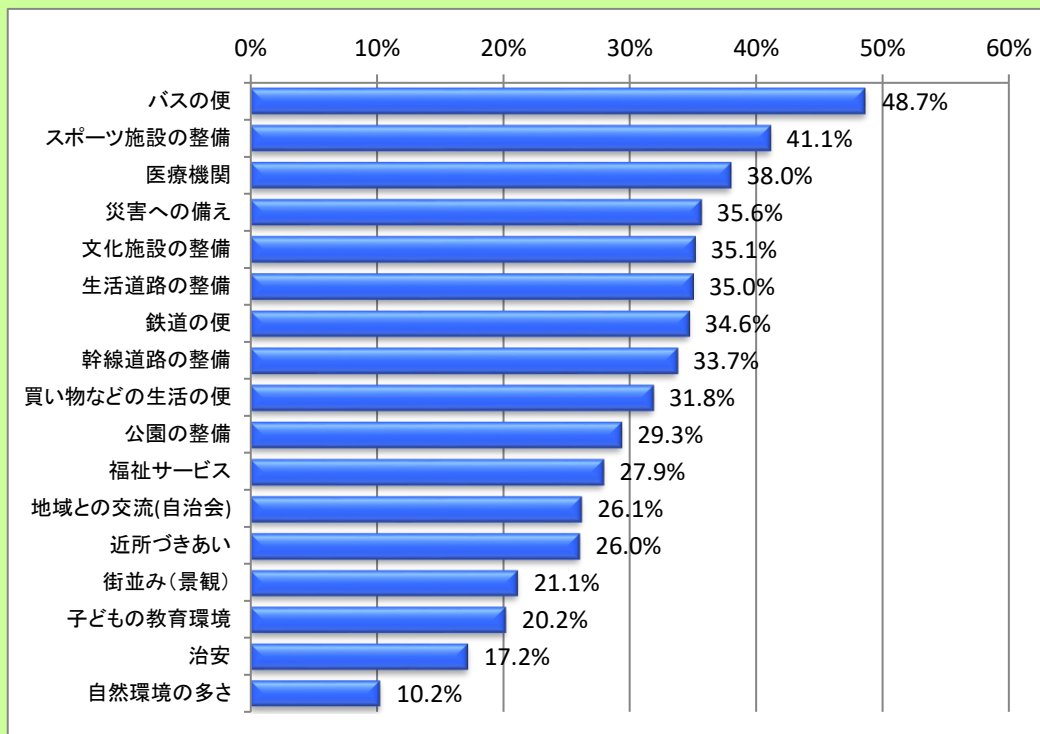
吉川市の住み心地を「よい」と感じる理由を伺った結果、「自然環境の多さ」が543人（85.5%）で最も多く、2番目「治安」が490人（77.2%）、3番目「街並み（景観）」が468人（73.7%）となりました。

前回の平成30年度調査と比較すると、住みよいと感じる理由としては、「自然環境の多さ」は0.6ポイント増加、「治安（犯罪の少なさ）」が5.2ポイント増加、「街並み（景観）」が0.2ポイント減少しています。



### 3-3. 吉川市の住み心地を「わるい」とする理由

～ 住み心地を「わるい」と感じる点として、4割以上の回答者が「バスの便」、「スポーツ施設の整備」をあげています



(該当するもの全て選択)

区分	実数	割合
バスの便	309	48.7%
スポーツ施設の整備	261	41.1%
医療機関	241	38.0%
災害への備え	226	35.6%
文化施設の整備	223	35.1%
生活道路の整備	222	35.0%
鉄道の便	220	34.6%
幹線道路の整備	214	33.7%
買い物などの生活の便	202	31.8%
公園の整備	186	29.3%
福祉サービス	177	27.9%
地域との交流(自治会)	166	26.1%
近所づきあい	165	26.0%
街並み(景観)	134	21.1%
子どもの教育環境	128	20.2%
治安	109	17.2%
自然環境の多さ	65	10.2%

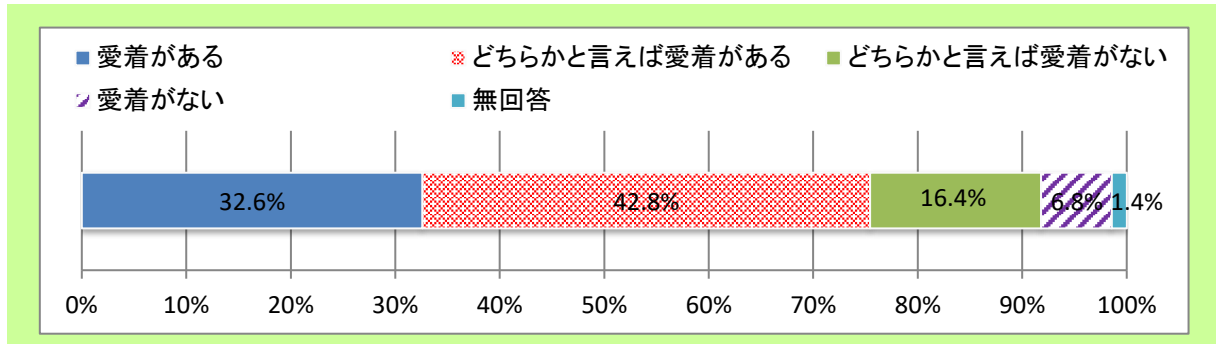
吉川市の住み心地を「わるい」と感じる理由を伺った結果、「バスの便」が309人(48.7%)で最も多く、続いて、「スポーツ施設の整備」が261人(41.1%)、「医療機関」が241人(38.0%)となっています。

なお、「バスの便」が前年度調査から0.9ポイント増加、「スポーツ施設の整備」が5.8ポイント減少、「医療機関」が3.6ポイント減少しています。



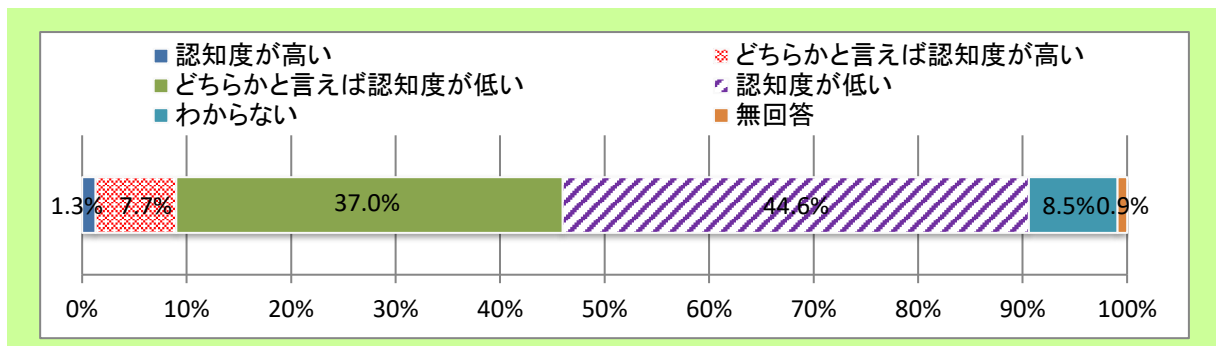
## 4-1. 吉川市への愛着心

～ 回答者の75.4%が  
吉川市に「愛着がある・どちらかと言えば愛着がある」と思っています ～



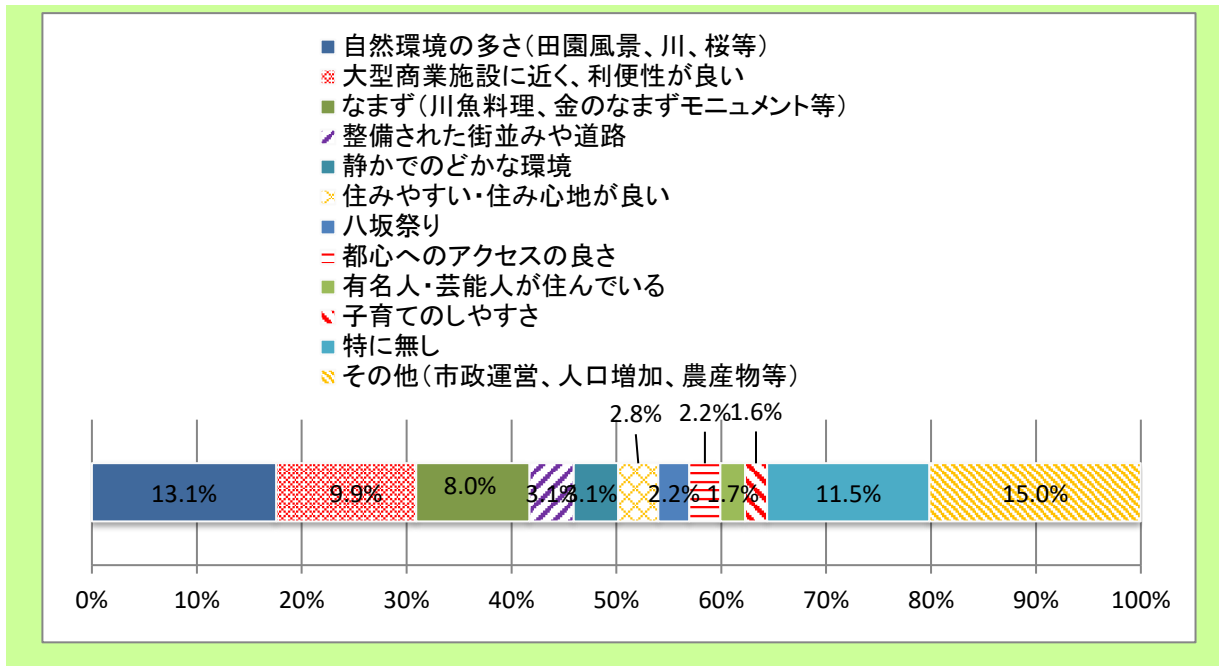
## 4-2. 吉川市の認知度の高さ

～ 回答者の81.6%が  
吉川市は「どちらかと言えば認知度が低い・認知度が低い」と思っています ～



### 4-3. 吉川市の自慢できる事柄

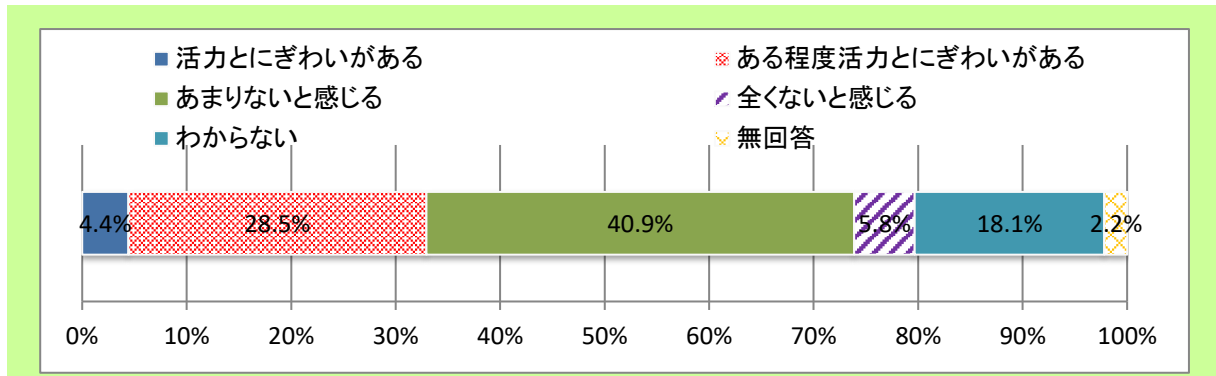
～ 自慢できる事柄として、1割程度の回答者が、「自然環境の多さ」、「大型商業施設に近く、利便性が良い」をあげている ～





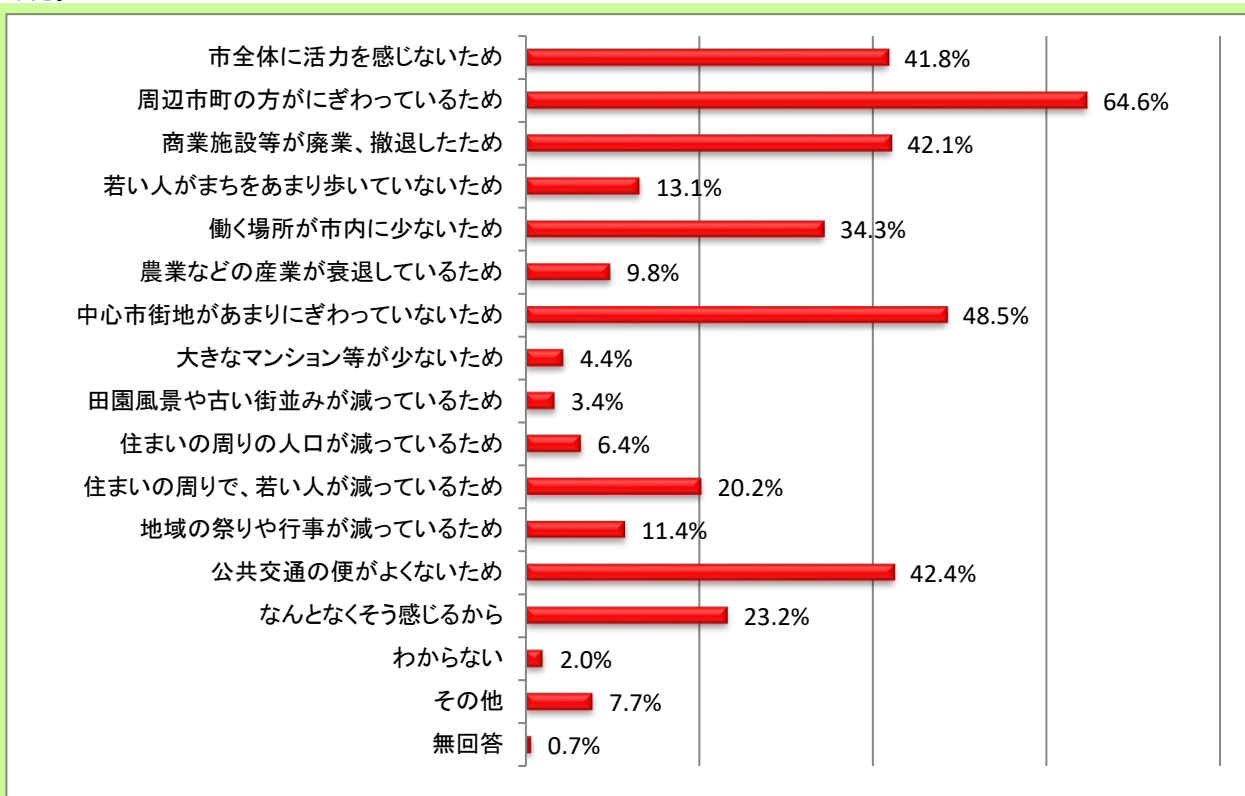
## 4-4. 吉川市の活力とにぎわい

～ 回答者の46.7%が、吉川市は「あまり活力とにぎわいがない・全くないと感じる」と思っています ～



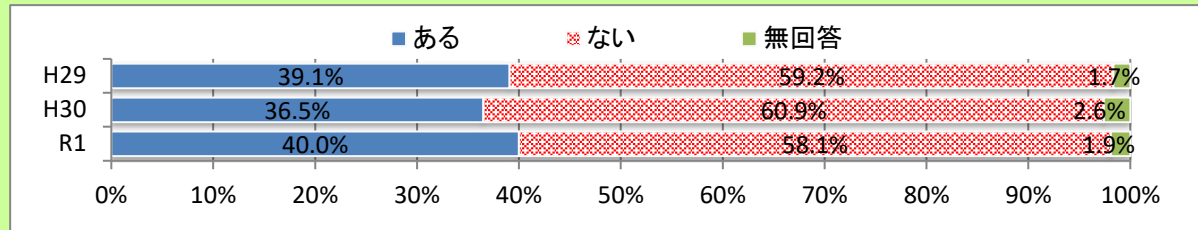
吉川市は活力とにぎわいがあると思うか問ったところ、回答者の32.9%（209人）が「活力とにぎわいがある・ある程度活力とにぎわいがある」と回答しています。

一方で、「あまり活力とにぎわいがない・全くないと感じる」297人（46.7%）と回答した理由は、次のとおりです。（該当するもの全て選択した。）



## 5-1. 自治会やボランティア、NPOなどの活動への参加状況

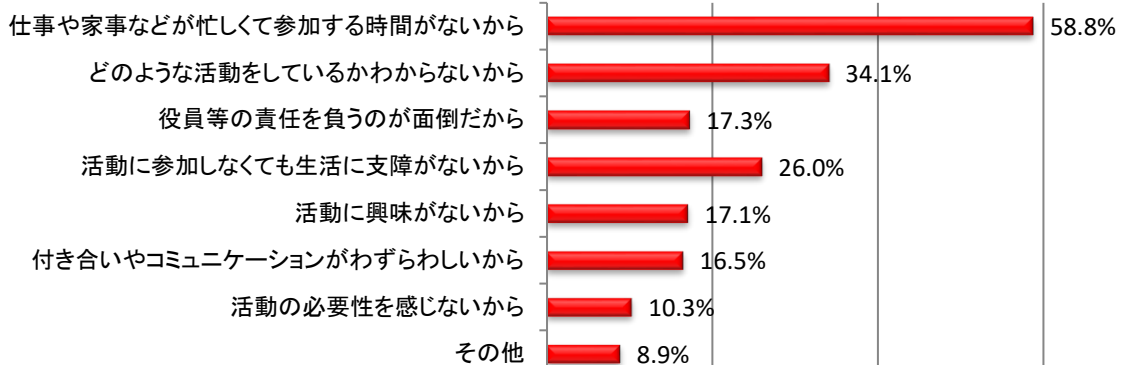
～ 回答者の40.0%が自治会やボランティア、NPOなどの活動に参加しています ～



この1年以内に自治会やボランティア、NPO活動などに参加したことがあるか伺ったところ、回答者の40.0%（254人）が「ある」としており、前年度調査からは3.5ポイント増加しています。

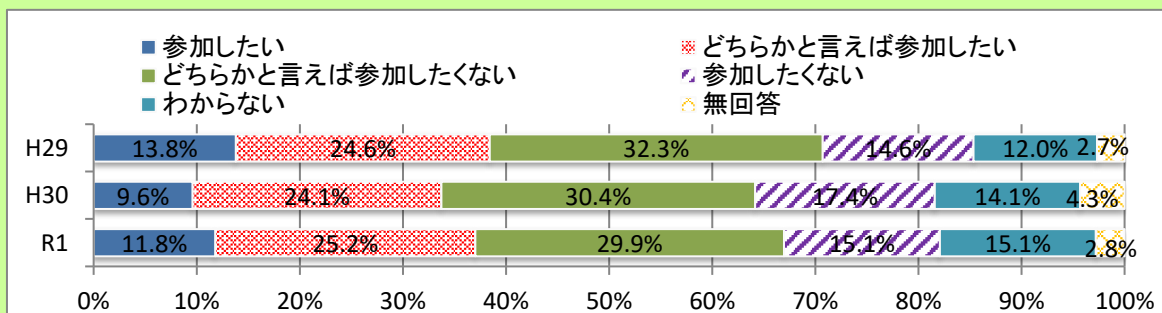
一方、「ない」369人（58.1%）と回答した方は、前年度から2.8ポイント減少しており、参加しなかった理由は次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）



## 5-2. 自治会やボランティア、NPOなどの活動への参加意向

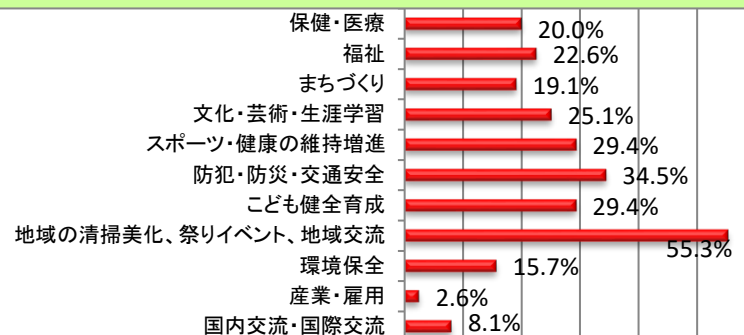
～ 回答者の37.0%が今後参加してみたいと考えています ～



自治会やボランティア、NPOなどの活動への参加意向を伺ったところ、「参加したい・どちらかと言えば参加したい」回答した方の割合は37.0%（235人）で、前年度調査から3.3ポイント増加しました。

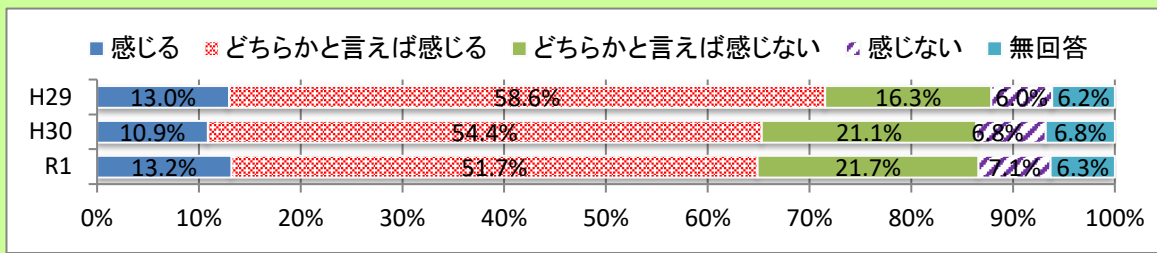
「参加したい・どちらかと言えば参加したい」と回答した方に、参加したいと考える活動を伺ったところ、右のとおり、「地域の清掃美化、祭りイベント、地域交流」130人（55.3%）が最も多く、次いで「防犯・防災・交通安全」81人（34.5%）の順に高い結果となりました。

（該当するもの全て選択）



### 5-3. 男女平等意識

～ 回答者の64.9%が男女が平等に活動できていると感じています ～



家庭や地域、職場などにおいて男女が平等に活動できていると感じるか伺ったところ、64.9%（412人）が「感じる・どちらかと言えば感じる」と回答しています。

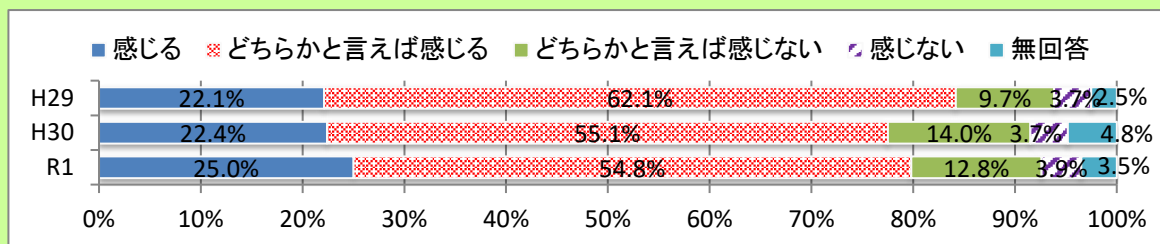
「どちらかと言えば感じない・感じない」183人（28.8%）とした理由は次のとおりでした。

（各項目1つ選択）

区分	男性が優遇されている		女性が優遇されている		無回答	
	実数	割合	実数	割合	実数	割合
家庭生活で	76	41.5%	8	4.4%	99	54.1%
職場で	81	44.3%	6	3.3%	96	52.5%
社会通念や風潮で	98	53.6%	5	2.7%	80	43.7%
法律や制度上で	45	24.6%	5	2.7%	133	72.7%
地域社会や社会活動の場で	45	24.6%	1	0.5%	137	74.9%
学校教育で	13	7.1%	3	1.6%	167	91.3%

### 5-4. 差別や人権侵害、人権の保護

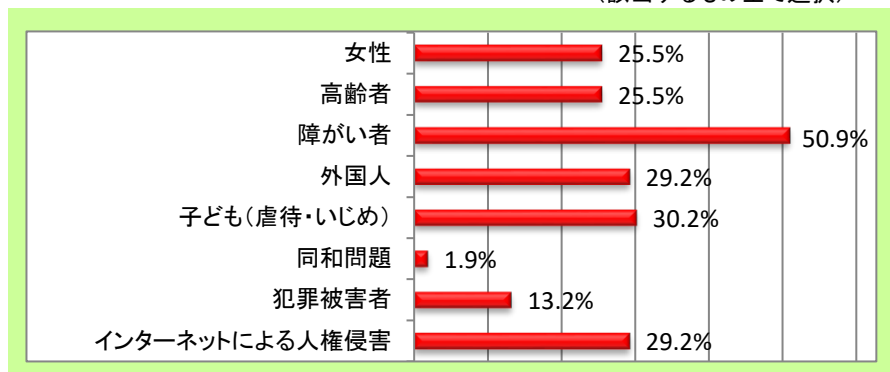
～ 回答者の79.8%が、差別や人権がなく、人権が守られていると感じています ～



差別や人権侵害が無く、人権が守られていると感じるか伺ったところ、「感じる・どちらかと言えば感じる」と回答したのは79.8%（507人）でした。

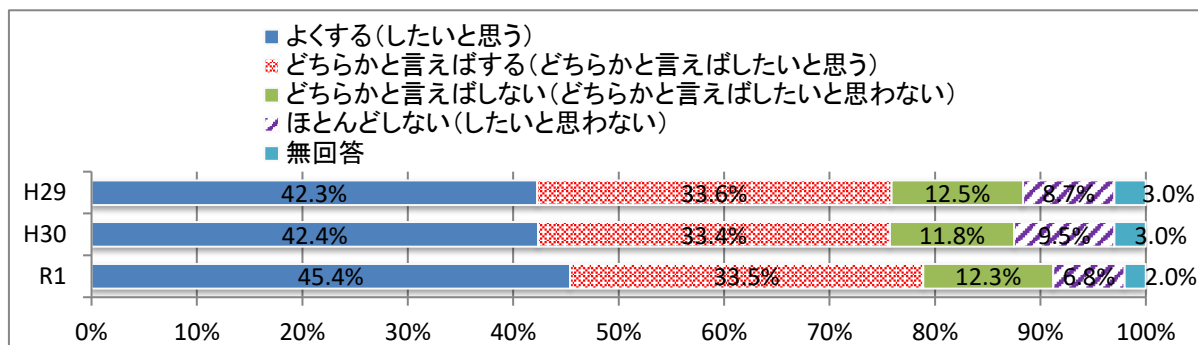
「どちらかと言えば感じない・感じない」106人（16.7%）と感じる主な分野は次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）



## 5-5. 市内商店での買い物状況（意向）

～ 回答者の78.9%が市内の商店を利用しています（したいと考えています） ～



市内の商店を利用するか（したいと思うか）伺ったところ、「よくする（したいと思う）・どちらかと言えばする（どちらかと言えばしたいと思う）」と回答したのは501人（78.9%）でした。

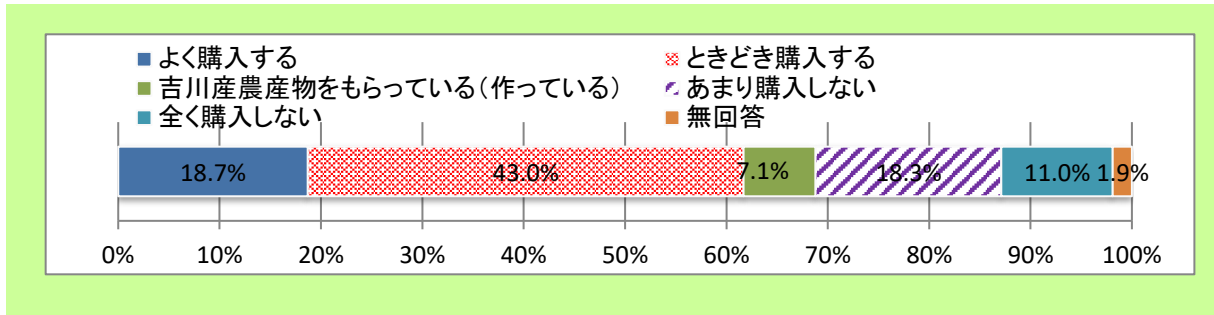
「どちらかと言えばしない（したいと思わない）・しない（したいと思わない）」121人（19.1%）と回答した方に、市内の商店を利用する（利用したい）と思うために必要と考えるものを伺ったところ、右のとおり「商品やサービスの品揃えが豊富」74人（61.2%）が最も多く、次いで「駐車場・駐輪場がある」63人（52.1%）でした。

（該当するもの全て選択）

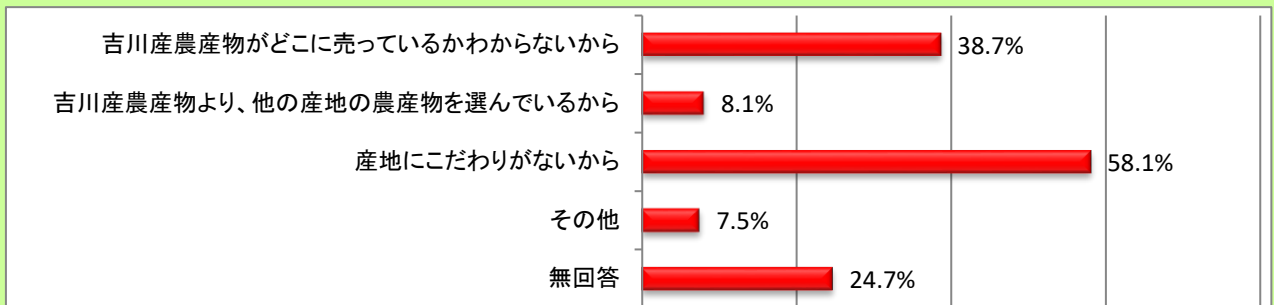


## 5-6. 吉川産農産物について

～ 回答者の61.7%が、吉川産農産物をよく、もしくはときどき購入しています ～

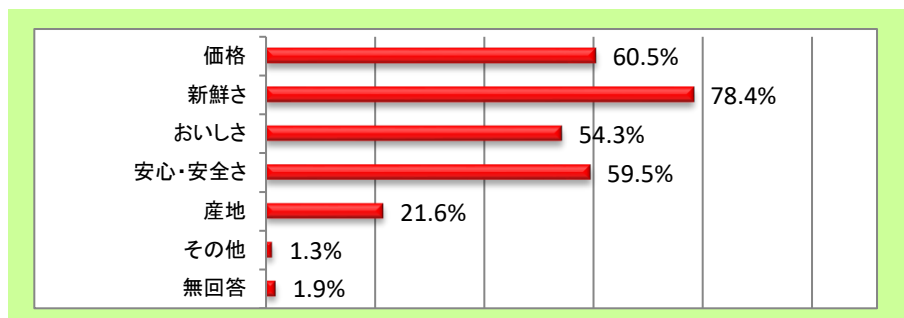


吉川産農産物を「あまり購入しない」「全く購入しない」と回答した方に理由を伺ったところ、次のとおりとなり、「産地にこだわりのないから」108人(58.1%)が最も多い回答となりました。(該当するもの全て選択)



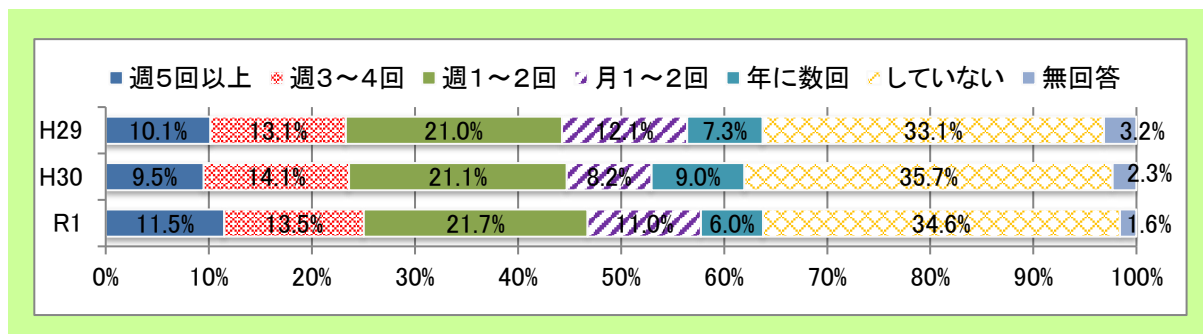
～ 農産物を購入する際は「新鮮さ」「価格」「安心・安全さ」が重視されています ～

(該当するもの全て選択)



## 6-1. 運動やスポーツの頻度

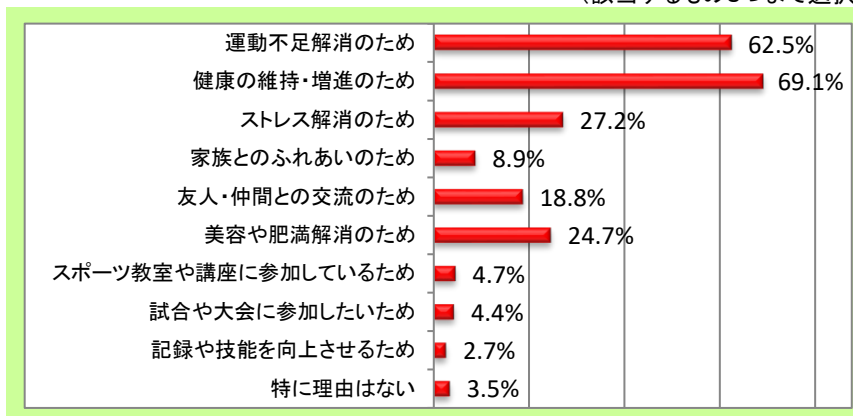
～ 回答者の46.7%が週1回以上運動やスポーツを行っています ～



(該当するもの3つまで選択)

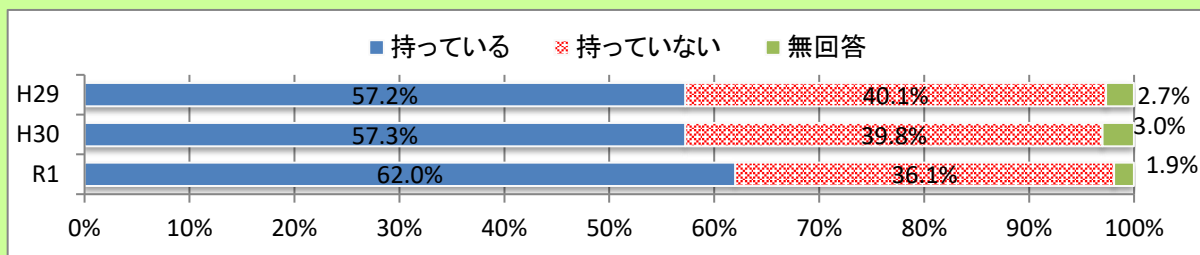
運動やスポーツを行う頻度について伺ったところ、週1回以上運動やスポーツを行っている方は46.7%となり、前年度調査の44.7%からは2.0ポイント増加となりました。

「運動やスポーツを行う」と回答した方に運動やスポーツを行う理由を伺ったところ、右のとおり「健康の維持・増進のため」280人（69.1%）が最も割合が高く、次いで「運動不足解消のため」253人（62.5%）、「ストレス解消のため」110人（27.2%）の順に高い結果となりました。



## 6-2. 「かかりつけ医」の有無

～ 回答者の62.0%が「かかりつけ医」を持っています ～



「かかりつけ医（歯科医を除く）」を持っているか伺ったところ、回答者の62.0%（394人）が「持っている」と回答しており、前年度調査からは4.7ポイント増加しています。  
 「持っていない」229人（36.1%）を選んだ理由は次のとおりでした。



（該当するもの全て選択）

区分	実数	割合
病気になっても医師の診療は受けたくないから	3	1.3%
「かかりつけ医」を必要とする病気になったことがないから	105	45.9%
病状等でその都度、受診先を決めており、特に決まった医師がいないから	116	50.7%
病気にかかったらまず病院へ行くようにしているから	22	9.6%
「かかりつけ医」にしたいような診療所がないから	43	18.8%

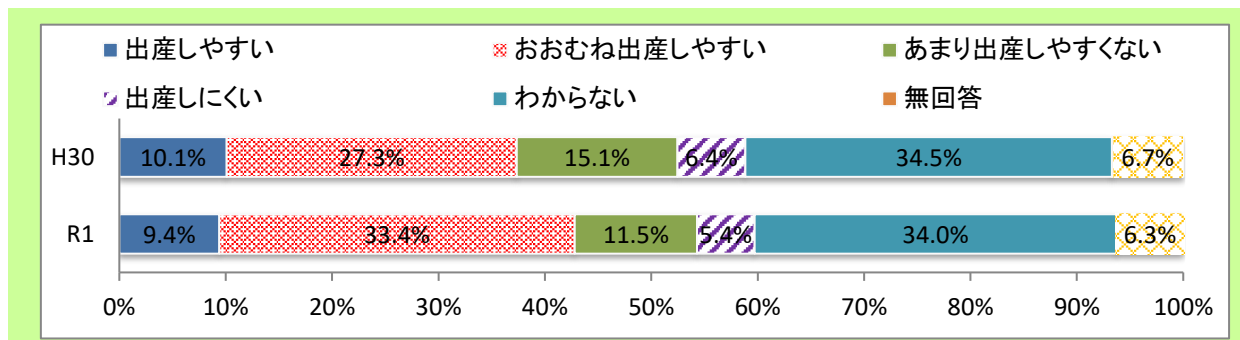
また、「持っていない」（36.1%）方が病気にかかったときに受診しようとする医療機関について伺ったところ、次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）

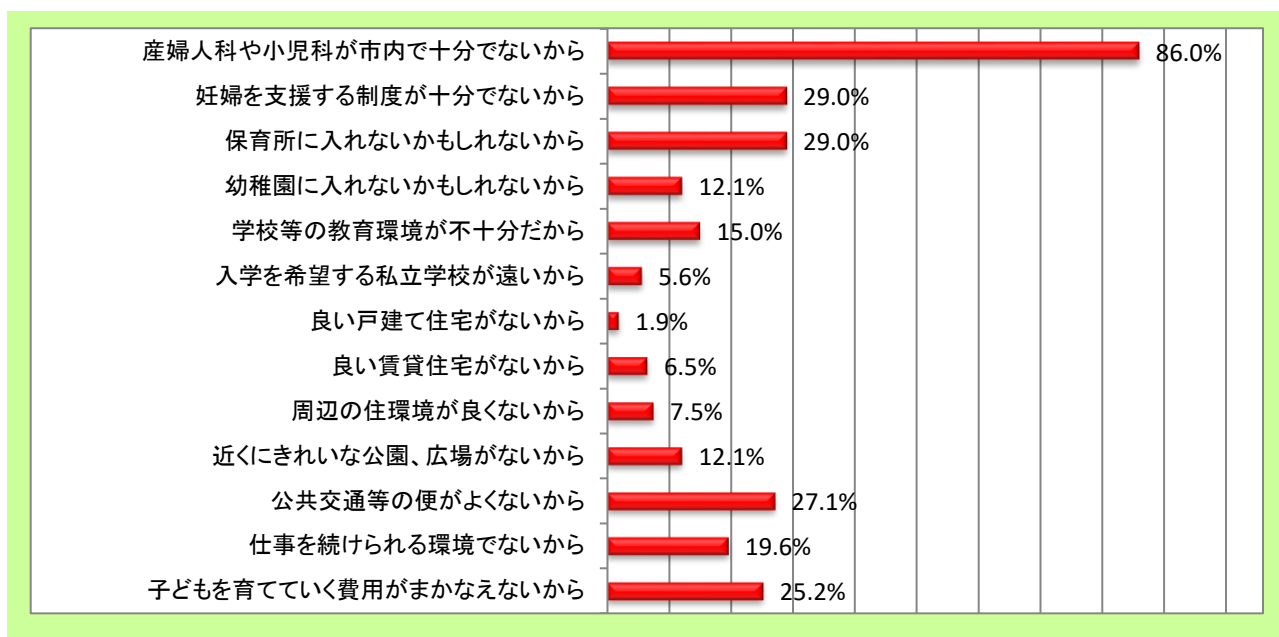
区分	実数	割合
市内の医療機関	149	65.1%
埼玉県内(市外)の医療機関	61	26.6%
県外の医療機関	20	8.7%
総合病院・大学病院などの医療機関	39	17.0%
病状等でその都度決めるので、わからない	56	24.5%

## 7-1. 吉川市の出産環境

～ 回答者の42.8%が吉川市の環境が「出産しやすい・おおむね出産しやすい」と感じています ～

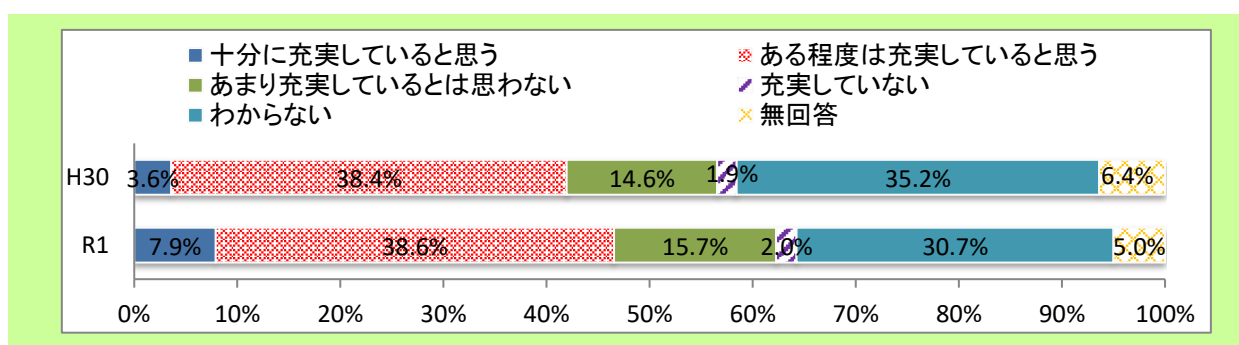


吉川市は子どもを出産しやすい環境にあると思うかを伺ったところ、回答者の42.8%が「出産しやすい・おおむね出産しやすい」（344人）と回答しており、平成30年度調査の37.4%からは5.4ポイント増加となりました。「あまり出産しやすすくない」73人（11.5%）、「出産しにくい」34人（5.4%）としている理由は、次のとおりでした。（該当するもの全て選択）



## 7-2. 吉川市の子どもは目標に向かって充実した生活を送っているか

～ 吉川市の子どもが、目標に向かって充実した生活を送っているかについて、回答者の46.5%が「十分に充実している・ある程度は充実している」と感じています

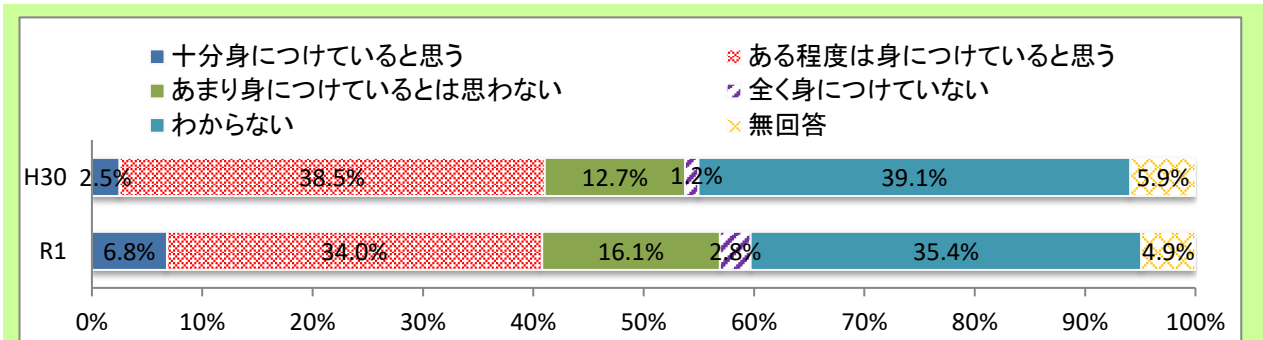




## 7-3. 吉川市の子どもは「未来を生きる力」を身に付けているか

～ 回答者の40.8%が吉川市の子どもは「未来を生きる力」(※)を「十分身につけている・ある程度は身につけている」と感じています ～

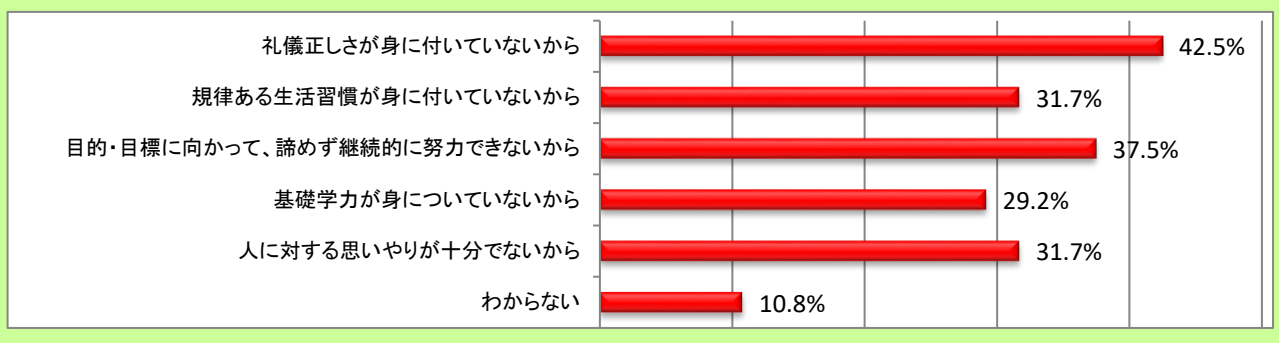
※「未来を生きる力」とは、礼儀正しさや約束・決まり事を守るなど、規律ある生活習慣を身に付け、目的・目標に向かって、諦めず継続的に努力できることを指します。



吉川市の子どもが「未来を生きる力」を身につけていると思うか伺ったところ、回答者の40.8%が「十分身につけていると思う・ある程度は身につけていると思う」(259人)と回答しており、前年度調査の41.0%からは、0.2ポイント減少しています。

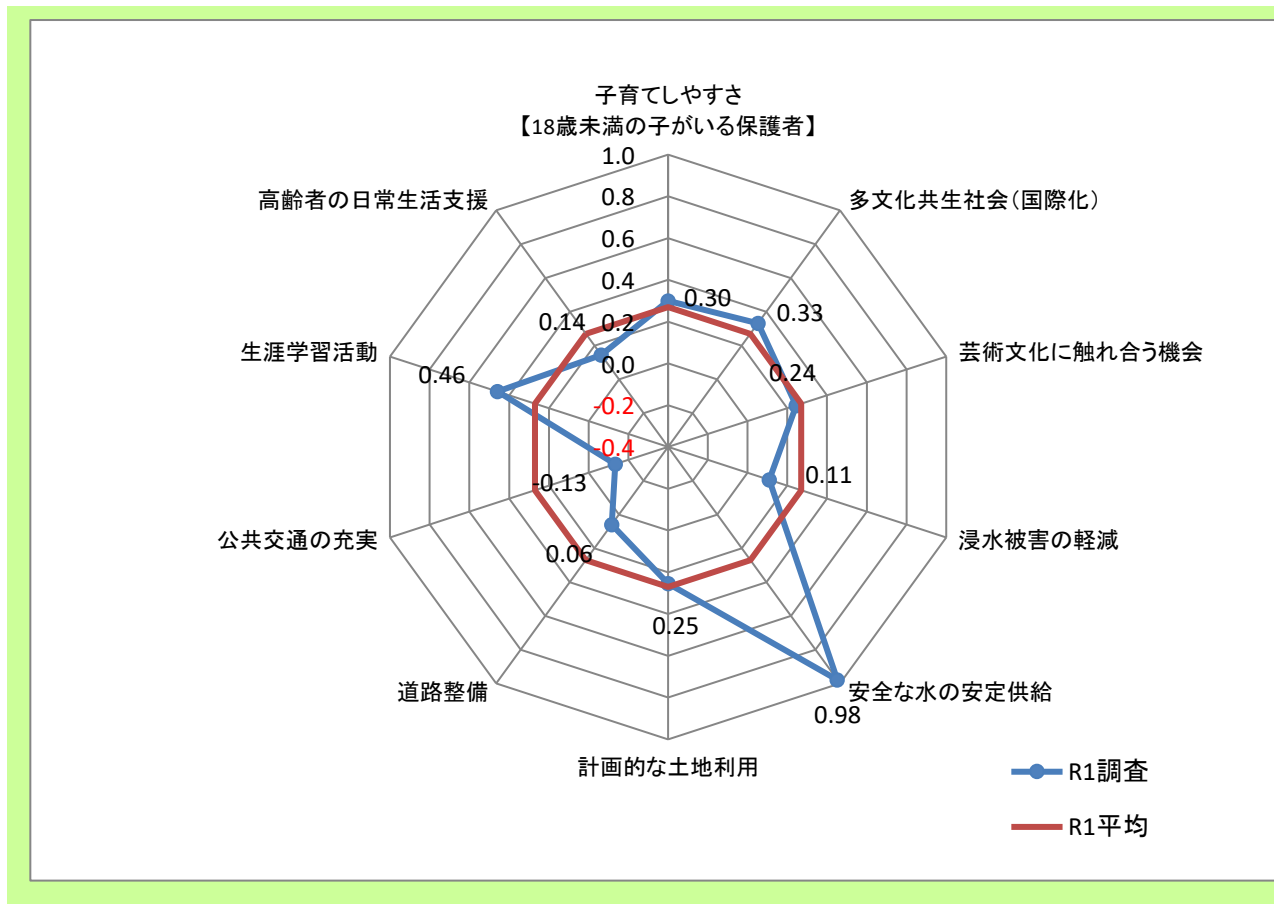
一方で、「あまり身につけているとは思わない・全く身につけていない」120人(18.9%)と思う理由は、次のとおりでした。

(該当するもの全て選択)



## 8. 吉川市の取り組みについての満足度

～ 満足度トップ3は「安全な水の安定供給」「生涯学習活動」「多文化共生社会」  
不満足度トップ3は「公共交通の充実」「道路整備」「浸水被害の軽減」～



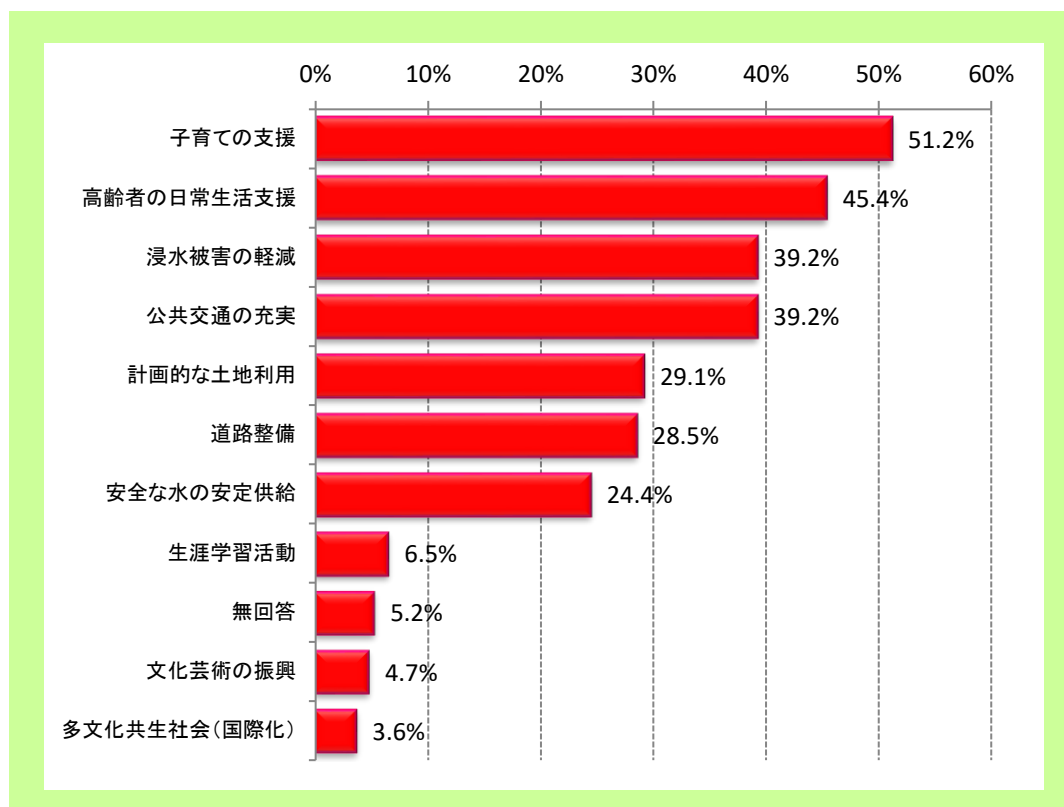
吉川市の取り組みについての満足度を伺い、その回答を「満足」2ポイント、「どちらかと言えば満足」1ポイント、「どちらかと言えば不満」マイナス1ポイント、「不満」マイナス2ポイントに変換して、レーダーチャートを作成しました。



吉川市の取り組みについての満足度をみると、全項目の平均値はプラス0.27ポイントとなっている。満足度がプラスの項目は、「安全な水の安定供給(0.98)」、「生涯学習活動(0.46)」、「多文化共生社会(0.33)」、「浸水被害の軽減(0.12)」、「子育てのしやすさ(0.30)」、「計画的な土地利用(0.25)」、「芸術文化に触れあう機会(0.24)」、「高齢者の日常生活支援(0.14)」、「道路整備(0.06)」の9項目となっている。  
一方で、満足度がマイナスの項目は、「公共交通の充実(-0.13)」の1項目となっている。

## 8. 吉川市の取り組みについての重要度

～ 市の取り組みで重要と感じる上位3項目として、「子育ての支援」「高齢者の日常生活支援」「浸水被害の軽減」「公共交通の充実」をあげられています～



(3つ選択)

区分	実数	割合
子育ての支援	325	51.2%
高齢者の日常生活支援	288	45.4%
浸水被害の軽減	249	39.2%
公共交通の充実	249	39.2%
計画的な土地利用	185	29.1%
道路整備	181	28.5%
安全な水の安定供給	155	24.4%
生涯学習活動	41	6.5%
無回答	33	5.2%
文化芸術の振興	30	4.7%
多文化共生社会(国際化)	23	3.6%

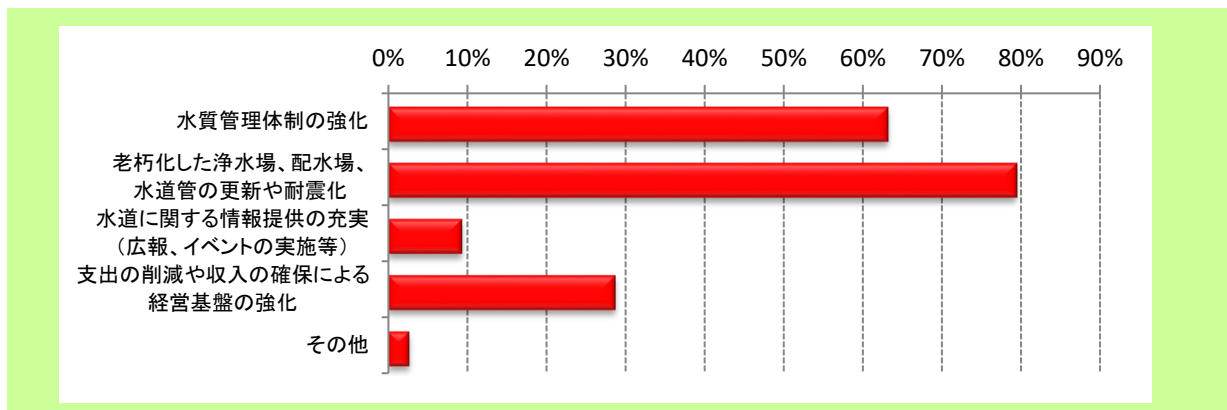
吉川市の取り組みの重要度について伺った結果、「子育ての支援」が325人（51.2%）で最も多く、2番目「高齢者の日常生活支援」が288人（45.4%）、3番目「浸水被害の軽減」と「公共交通の充実」が同率で249人（39.2%）となりました。



## 9. 特集①「吉川市の水道」について

～ 回答者の6割以上が「老朽化した浄水場、配水場、水道管の更新や耐震化」「水質管理体制の強化」を重視しています ～

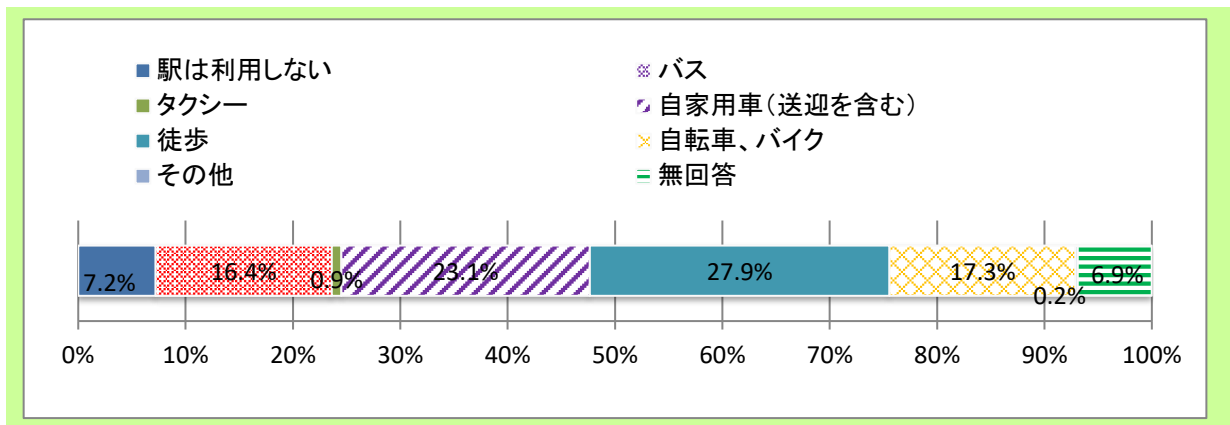
(2つ選択)



吉川市水道事業が特に力を入れて取り組むべきことについて伺ったところ、回答者の6割以上が「老朽化した浄水場、配水場、水道管の更新や耐震化」505人（79.5%）、「水質管理体制の強化」402人（63.3%）と回答しています。

## 9. 特集② 駅までの交通手段について「晴天時」

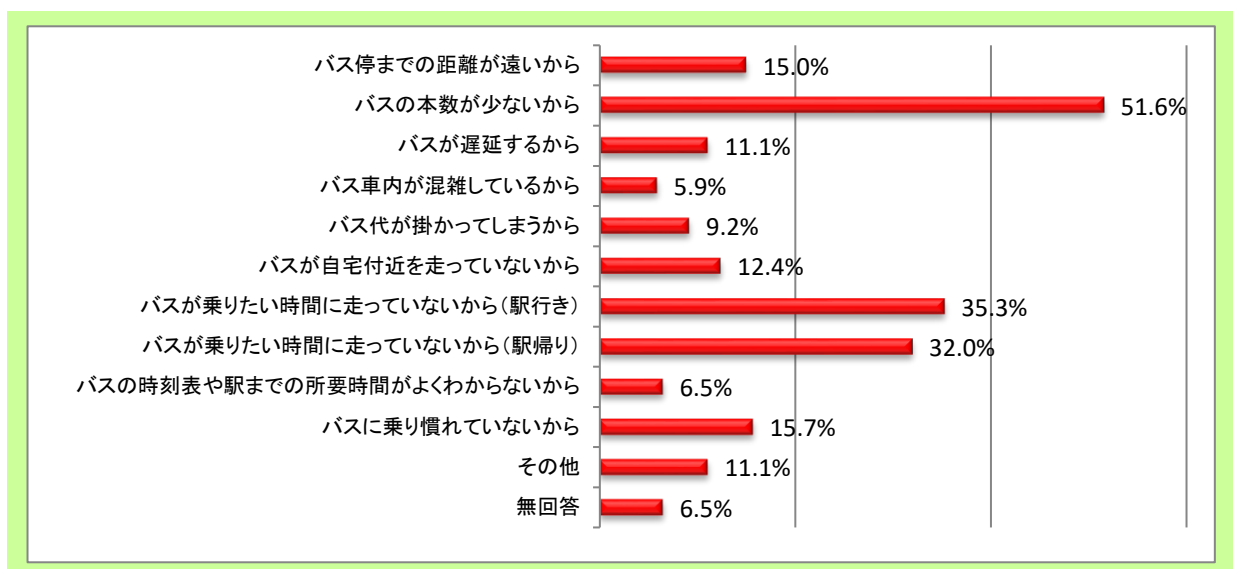
～ 晴天時の駅までの交通手段上位3項目は  
「徒歩」「自家用車（送迎を含む）」「自転車、バイク」



晴天時の駅までの交通手段を伺ったところ、「徒歩」177人（27.9%）が最も割合が大きく、次いで「自家用車（送迎を含む）」147人（23.1%）、「自転車、バイク」110人（17.3%）の順に高い結果となりました。

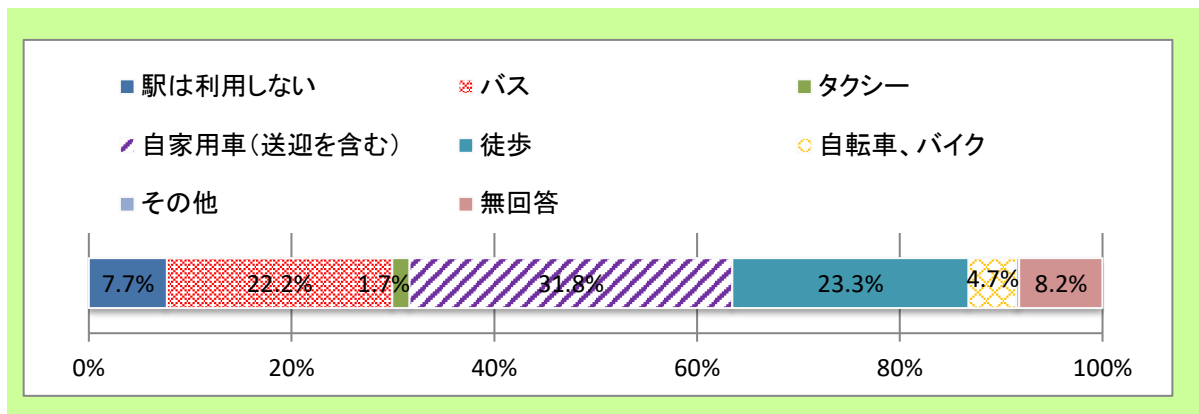
晴天時に「タクシー、自家用車（送迎を含む）」を利用すると回答した方がバスを利用しない理由は、次のとおり

（該当するもの全て選択）



## 9. 特集② 駅までの交通手段について「雨天時」

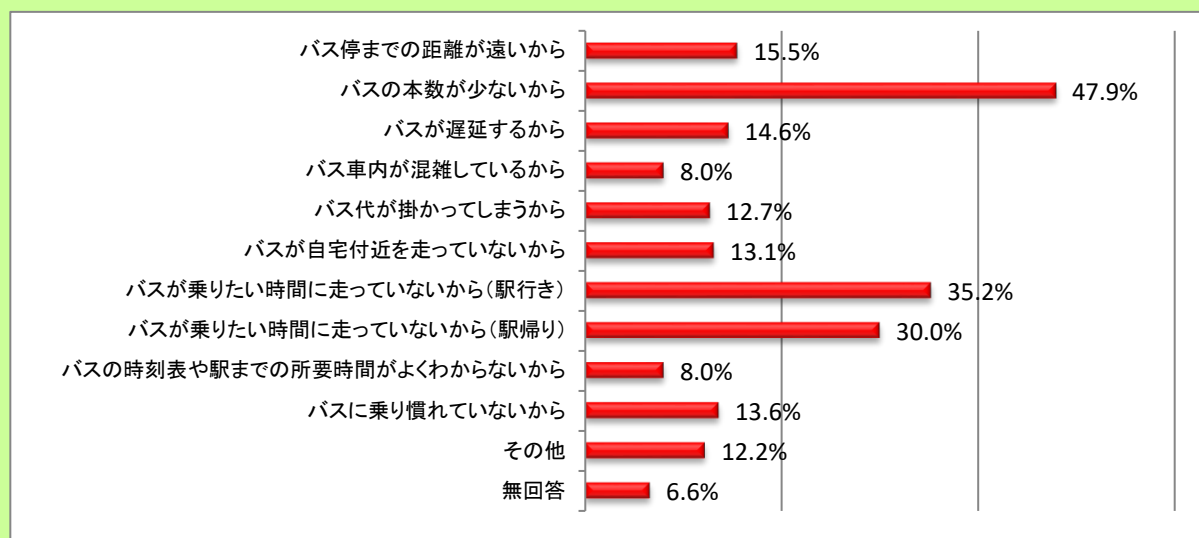
～ 雨天時の駅までの交通手段上位3項目は  
「自家用車（送迎を含む）」 「徒歩」 「バス」 ～



雨天時の駅までの交通手段を伺ったところ、「自家用車（送迎を含む）」202人（31.8%）、「徒歩」148人（23.3%）、次いで「バス」141人（22.2%）の順に高い結果となりました。

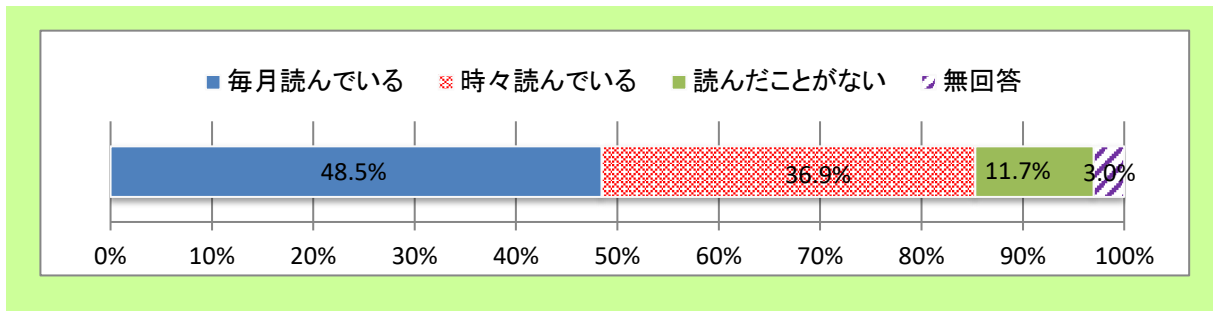
雨天時に「タクシー」「自家用車（送迎を含む）」を利用すると回答した方がバスを利用しない理由は、次のとおりでした。

（該当するもの全て選択）

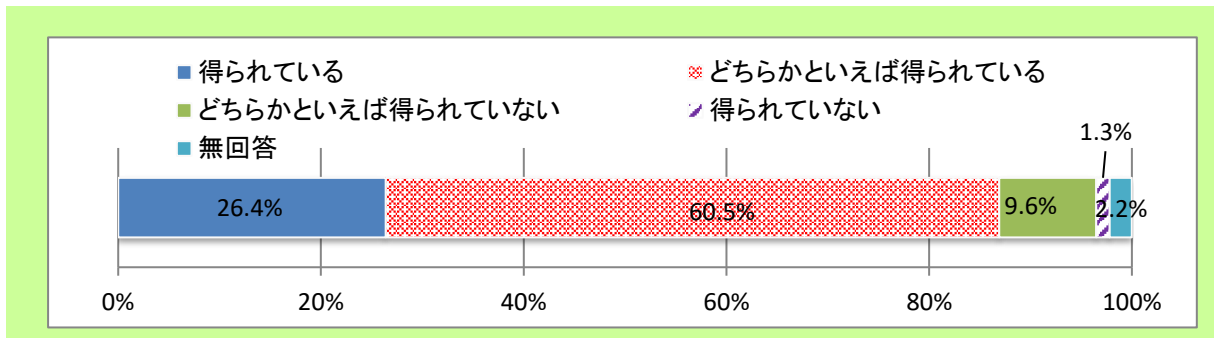


## 9. 特集③「市からの情報発信」<<広報よしかわ>>

～ 回答者の48.5%が「広報よしかわ（市ホームページ、マチイロ\*含む）」を毎月読んでいると回答している ～

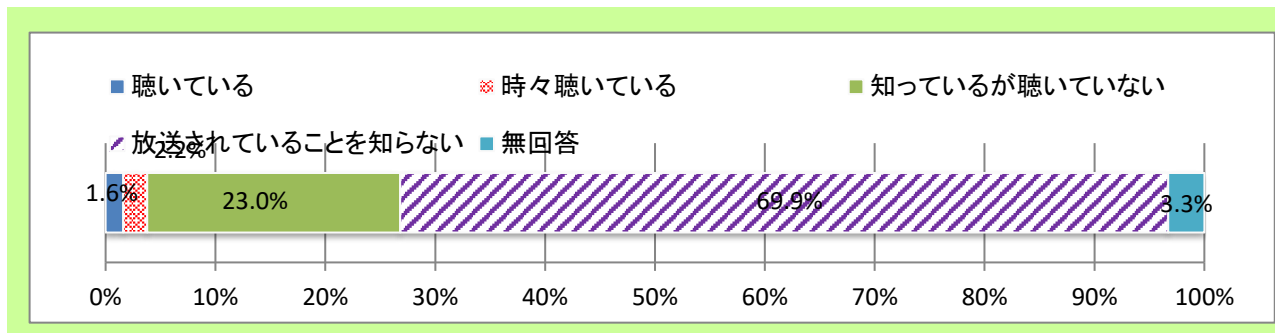


～ 回答者の86.9%が「広報よしかわ」により市政情報が得られていると回答している ～



## 9. 特集③「市からの情報発信」<<FMこしがや 吉川市のラジオコーナー>>

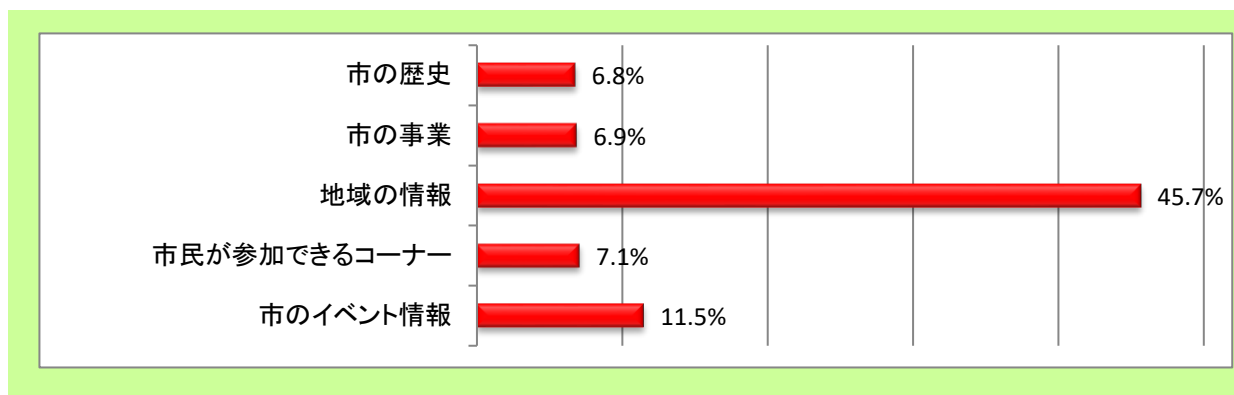
～ 回答者の69.9%が「放送されていることを知らない」と回答している ～



### ◆聞いてみたい放送内容について

「吉川市のラジオコーナー 金のなます」で聞いてみたい放送内容について伺ったところ、「地域の情報」が290人（45.7%）でトップとなりました。

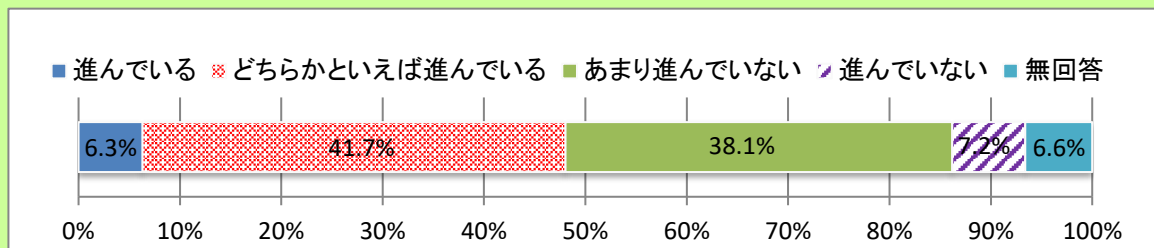
(1つ選択)





## 9. 特集③「市からの情報発信」◀防災・減災についての情報発信先進度▶について

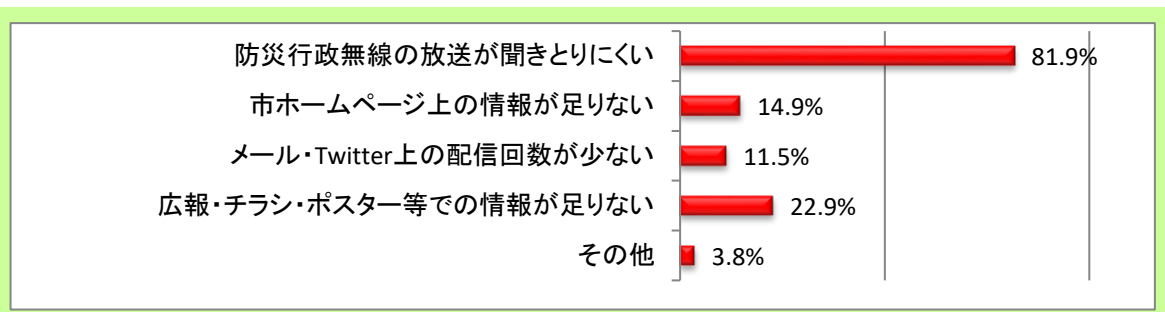
～ 回答者の48.0%が「進んでいる」「どちらかといえば進んでいる」と回答している ～



### ◆「あまり進んでいない」「進んでいない」と回答した方の理由

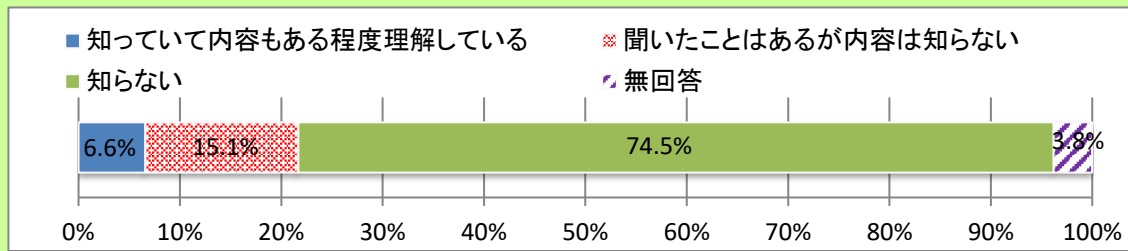
「防災行政無線の放送が聞き取りにくい」236人（81.9%）、次いで「広報・チラシ・ポスター等での情報が足りない」66人（22.9%）が多かった理由です。

（1つ選択）

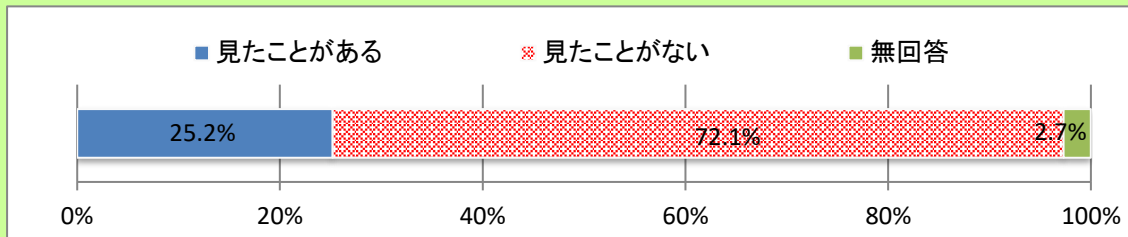


## 9. 特集④「SDGs(持続可能な開発目標)の認知度・関心度」

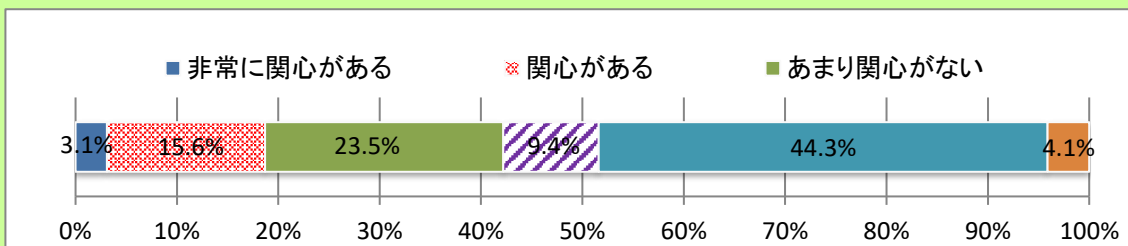
～ 回答者の74.5%がSDGsについて「知らない」と回答している ～



～ 回答者の72.1%がSDGsのロゴマークについて「見たことがない」情報が得られていると回答している ～



～ 回答者の32.9%がSDGsへの関心について「あまり関心がない」「全く関心がない」と回答している ～

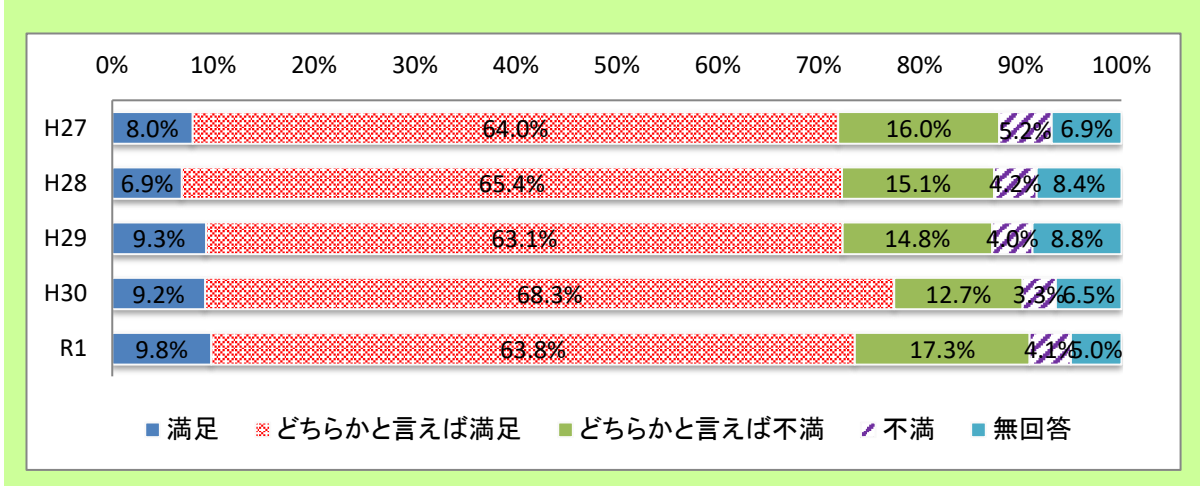


# 10. 吉川市全体の取り組みに対する満足度

～ 回答者の73.6%が市民サービスへの取り組みについて  
「満足・どちらかと言えば満足」と感じています ～

吉川市全体の取り組みに対する満足度を伺ったところ、「満足」62人（9.8%）、「どちらかと言えば満足」405人（63.8%）、「どちらかと言えば不満」110人（17.3%）、「不満」26人（4.1%）となりました。

「満足・どちらかと言えば満足」（73.6%）は、前年度調査（77.5%）と比較して、3.9ポイント増加しています。



(1つ選択)

区分	H27	H28	H29	H30	R1	
					回答数	割合
満足	8.0%	6.9%	9.3%	9.2%	62	9.8%
やや満足	64.0%	65.4%	63.1%	68.3%	405	63.8%
やや不満	16.0%	15.1%	14.8%	12.7%	110	17.3%
不満	5.2%	4.2%	4.0%	3.3%	26	4.1%
無回答	6.9%	8.4%	8.8%	6.5%	32	5.0%
母数	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	635	100.0%

この概要版は、令和元年度市民意識調査報告書に掲載した内容の一部を記載したものです。

発行月 令和元年11月  
発行 吉川市政策室  
〒342-8501 吉川市きよみ野一丁目1番地  
048-982-9445 (直通)